

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 9 月 6 日

審査機関名 KPMG あずさサステナビリティ株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	再生重油炉筒煙管ボイラーから都市ガス貫流ボイラーへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	紅産業株式会社
排出削減共同実施事業者名	静岡ガス株式会社
事業実施場所	紅産業株式会社 (静岡市清水区三保 612 番地の 4)
事業の概要	再生重油炉筒煙管ボイラー1 台を都市ガス貫流ボイラー1 台へ更新する。 ボイラーの更新で、燃料使用量を削減し、CO ₂ 排出量を削減する。 また、再生重油都市ガスに燃料転換することにより CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	419 t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,466t CO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 10 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：紅産業株式会社本社工場
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、これまで使用していた再生重油ボイラーから、都市ガスに燃料転換し、最新のボイラー設備に更新することによる CO ₂ 排出量の削減、及びこのような温暖化対策を社会的にアピールできることを目的としていることを関係者への質問等により確認した。 2) 経済的見地から判断して、本事業が最も魅力的な投資案とはなりえないこと、本事業が実施できない場合には、既存の設備が継続的に使用されることを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時の既存設備設置年の確認等により確認している。また旧設備の点検記録を確認し、新設備への転換がなされなくても旧設備を継続使用できていたであろうことを確認している 3) 本事業は投資回収年数が 3 年を超える（20.8 年）であることについては、質問、再計算、関連資料との突合などにより、正確性を確認している。
自主行動計画に参加していない者により行われること	自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることの確認を実施した。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済方法論 001 に基づき排出削減を計算しており、またそれぞれの方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。 適用条件 1 については、既存熱源設備の視察、既存熱源設備の仕様書の確認等によって、高効率ガスボイラーを導入することを確認している。 適用条件 2 については、既存のボイラーが未だ使用可能であ

	<p>ることを関係者への質問や点検記録等により確認している。 適用条件3については、ボイラーで製造された蒸気が自家消費されていることを、現場視察、配置図の確認、及び関係者への質問等により確認している。</p> <p>2)その他：バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについては、それぞれ質問と関連資料により確認している。</p>
--	--

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上